認定 NPO 法人
まちづくりスポット
2012 ー 2023

認定NPO法人 まちづくりスポットにご支援・ご寄付をお願いします！

まちづくりスポット（通称まちスポ）は、2022年に10 周年を迎えることができました。2023年は新型コロナウィルス感染症による社会活動の停滞も落ち着き、いよいよコミュニティ活動も活発化する年になります。
地域社会は様々な人や組織がパートナーシップを築いて支えあう必要があります。そのコミュニティが形成されていく過程に、私たちは寄り添い応援をしていきたいと思います。これからもまちスポと共に地域に笑顔を増やす「活動への参加」や「寄付」という形で支えてください。

個人として寄付！

賛助会員 年会費　1口 3,000円を1口以上

団体・法人として寄付！

賛助会員 年会費　1口 5,000円を1口以上

振込み

郵便振替　00840-9-183216
高山信用金庫　駅西支店・(普) 0166788
飛騨信用組合　松泰寺支店・(普) 0793442

◆口座名義
特定非営利活動法人まちづくりスポット

※恐れ入りますが、振込手数料は会員様にてご負担ください。
・別紙賛助会員申込書をご記入・提出後、申込日より1週間以内にまちスポ窓口にて現金払い、または左記口座をお選び頂きお振込みください。
・会員期限は、入金日より1年間となります。
・賛助会員年会費は、寄付に係る支出金に該当します。

クレジット・さるぼぼコイン

クレジットカードで振込をご希望の方は、QRコードを読み取るかURLを入力してページにアクセスし、該当金額をお選びください。詳しくはページをご覧ください。
税制優遇についてもご確認いただけます。
http://machispo.org/donation/anydonation

※認定NPO法人への寄付は「税制上の優遇措置」を受けることができます。

認定 NPO 法人
まちづくりスポット

2022年度年次報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

人とヒト、人とコト、
人とモノを結んだ
「結び芽」が芽吹く季節

認定NPO法人まちづくりスポット、

お気軽にまちスポと、呼んでください。

まちスポは、あなたの「やりたい」「やってみたい」の実現をお手伝いする組織です。

ビジョン Vision

歩みだすその一歩を応援します！

私たちの活動によって培われる人とヒト、人とモノ、人とコトを結んだ「結び芽」が地域を守り続けていくためのきっかけとなり自分自身の幸せを掴む第一歩になると信じています。

ミッション Mission

人とヒト・コト・モノを結ぶことで地域の原動力を活かします！

1 同じ志を持つ仲間との出会いの場を設け、
新しいアイデアの構築や仲間と団結する機会をつくります。

2 個人と団体・組織が市民活動を身近に捉え、
関わりやすい場所をつくります。

3 企業・行政・NPOが、それぞれの強みを活かし、
互いに理解し支え合える関係をつくります。

代表挨拶

コロナ禍で見えてきた中間支援組織 / 代表理事 竹内由美子

設立から無我夢中で走ってきた認定NPO法人まちづくりスポットです。11年目の中盤にさしかかろうとしています。地域の課題を見つけ、なんとかしたいと思う人が、まちスポという場所でつながり、歩みをスタートしてほしいとの思いで設立しました。行動しようとしている人の背中をそっと押すことができればいいなと。そのための場所や情報の提供等様々な応援をしてきました。NPOや行政、企業、地域との橋渡しなどのコーディネートもしてきました。しかしコロナ禍の中で見えてきたのはエッセンシャルワークという仕事の重要さでした。社会がどう変わっても休む事ができない仕事です。利潤追求の対象にしてはいけない社会の基盤的共通財産です。この財産を守り育てられる社会を作るための「まちづくりスポット」でもありたいと思いました。2020年医療従事者支援基金の時は、多くの方にご寄付頂き有難うございました。この経験をさらに発展させ、今年度中に資金援助ができる財団を立ち上げる予定です。これからも皆様の安心に寄り添える「まちづくりスポット」でありたいと思います。

ものの見方が変わってきたよね、だからもっともっと良い方向に変えていきたいよね。 / 代表理事 森内潤一

10年以上、NPOに関わらせて頂いてつくづく感じます。また、事業を進めて行く中で自分の成長は一つではない事を教えて頂きました。私自身、パラレルスタンスのダブルキャリアを基本に取組んできましたが、こんなに色々な経験が出来るなんて思ってもいませんでした。感謝申し上げます。最近ではコロナももう昔の話の様になりましたが、あの時は色々な出来る限りの取組みが出来たと思っています。がもしもコロナ禍が起こっていなければ、思い付かなかったり、取り組まなかった事は沢山有ったのではないでしょうか。その経験値は今では平気に取り組んでいますよね（テレワークとか）。でも、本当は人と人とが対面の中で無駄話の連続から新たな発想が生まれ、新たなチャレンジを生み出すことが一番楽しいと思い知らされました。次の10年はどんな世の中になっているのだろうか。こんな世の中が良いなと思いつつ励んで行きたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

2つの交流拠点 Two places to interact

まちスポ飛騨高山

〒506-0025
岐阜県高山市天満町1-5-8
（フレスポ飛騨高山内）
Tel 0577-62-8550
Fax 0577-62-8580
✉ info@machispo.org

開館時間／10:00～18:00　定休日／火曜（祝日の場合は振替）年末年始

アクセス／高山駅より徒歩15分
駐車場完備（フレスポ飛騨高山 無料駐車場373台）

まちスポとやま

〒930-0083
富山市総曲輪4丁目4-3
（総曲輪レガートスクエア内）
Tel 076-461-3332
Fax 076-461-3359
✉ toyama.info@machispo.org

開館時間／8:30～17:30　定休日／日曜、年末年始

アクセス／国際会議場前より徒歩2分
お車でお越しの際は、総曲輪レガートスクエア内立体駐車場「Dパーキング」をご利用ください。

事務局

事務局長 田辺 友也

- オフィスマネージャー 本間 あかり
- コーディネーター 五十嵐 浩子
- コーディネーター スタッフルバック ケルシー
- コーディネーター 野中 小鈴
- オフィスマネージャー（兼務）田辺 友也
- コーディネーター 板屋 亜希恵
- サブコーディネーター 真田 充

飛騨市移住支援センター

- コーディネーター 藤本 朋美
- コーディネーター 中川 翔平

管理部

- コーディネーター・経理 倉本 雅子
- コーディネーター・経理 野首 あゆみ
- コーディネーター・経理 カスティーロ 美智子

（2023年6月5日現在）

団体概要

【名称】
特定非営利活動法人まちづくりスポット

【設立】
2013年3月4日

【主たる所在地】
岐阜県高山市天満町1-5-8
（フレスポ飛騨高山内）

【活動内容】
交流スペースの利用促進に係る事業
まちづくりの推進に係る事業
ネットワーク事業
人材育成及び研修に係る事業
広報活動に係る事業

賛助会員数　個人100名
団体・法人44団体
正会員数　16名（2023年3月31日現在）

【役員】

代表理事　竹内 由美子	理事　坂口 みずえ
代表理事　森内 潤一	理事　中﨑 雄二
副代表理事　長瀬 達三	理事　溝際 清太郎
専務理事/事務局長 田辺 友也	理事　中田 久美子
	理事　安江 健一
	理事　伴 和史
	監事　鳥居 翼

（2023年3月31日現在）

偶然の出会いの創出

交流スペースの利用促進に係る事業

地域の市民、団体の活動が広がることを目指して、気軽に立ち寄れる場所をつくります。各種イベント開催のサポートや活動の展示、お絵かきスペースの設置などを行っています。偶然の出会いが生まれるきっかけを増やすことで、新しい人との繋がりやアイデアの共鳴を促し、地域活動に活かします！

利用例の紹介2022

■岐阜県補聴器センター

補聴器相談、メンテナンス

耳の聞こえに不安を感じている方のお話を伺い、それらを解消できるようなお手伝いをしています。補聴器を購入いただいた方には、調整や電池交換等のメンテナンスのサービスが受けられます。

■atelier Artcana Hifmi

アート教室

水彩絵具やマスキングテープ等を使ったアート教室を開催。2時間程度で素敵なオリジナル作品が出来上がります。気軽に簡単に楽しめると小学生から大人の方にも好評でした。

■丹生川土産品組合

高山市土産品応援セール

賞味期限が迫っているお菓子、漬物、惣菜などの食品や在庫過多になってしまった商品を10%引きから半額で販売する応援セールを開催。商品を購入することで組合の支援、またはフードロス消滅にもつながります。約300人が来場し、買い物を楽しんでいました。

■やってみよう展実行委員会

シニアカレッジ

手芸、編み物、ものづくりを通して、子ども達へ手作りの大切さ、シニアに向けた手先を使うボケ防止・リハビリにつながる活動をしています。2022年度は編み物、小物作りのワークショップを実施しました。

利用登録団体と来館者数

交流スペース「まちスポ飛騨高山」を利用している利用会員登録数は、2022年度22団体（2021年度33団体）と、昨年度から減少しました。一方、年間来館者数も7,932人（2021年度4,130人）と2倍くらい増加しました。継続的に利用してくださる団体は増えたものの、新規利用会員の減少が大きかったです。今後は、新規利用をしていただけるように、交流スペースの周知を積極的に行っていきます。

利用会員一覧

坂本 亜矢（保健・医療・福祉）／㈱フィールドマックス（経済活動活性化）／NPO法人すえひろ（災害救援）／高齢者あんしんセンター（保健・医療・福祉）／やってみよう展実行委員会（まちづくり）／おはなしネット ことだま（文化・芸術・スポーツ）／atelier Artcana Hifmi（文化・芸術・スポーツ）／飛騨ゼロウェイストプロジェクト（環境保全）／岐阜県補聴器センター（保健・医療・福祉）／ココカラまるしぇ実行委員会（文化・芸術・スポーツ）／Family Planet Japan（国際協力）／高山市役所　選挙管理委員会事務局（まちづくり）／ポピュラーミュージック吹奏楽団 West Wind of Session（文化・芸術・スポーツ）／NPO法人　飛騨高山わらべうたの会（子育て支援）／童心・飛騨高山太鼓団（文化・芸術・スポーツ）／サトワ（保健・医療・福祉）／NPO法人活エネルギーアカデミー（環境保全）／㈱エルピスハート（経済活動活性化）／NPO法人 さんしょうの会（保健・医療・福祉）／古川製材株式会社（経済活動活性化）／はみんぐアニマル（まちづくり）／アニマルレスキュー飛騨（保健・医療・福祉）

私が主役のまちづくり

まちづくりの推進に係る事業

地域住民が地域課題を自分事として捉えるとともに、異なる所属の人や組織と協力し合うことで主体性を持って、挑戦できる環境をつくります。一人一人の声に耳を傾け、みんなの知恵を活かして、みんなの力でまちをつくります。私たちの共通の目標は「よりよいまちへ！」

飛騨コミュニティ財団（仮称）設立事業

休眠預金活用事業

2021年度からまちスポでは、飛騨地域でのコミュニティ財団（仮称）の設立を目指す活動を開始します。この準備にかかる調査・研究と人材育成等にかかる費用については休眠預金の助成金を活用させていただきながら、2024年3月までの3年間にわたって準備を進めます。

ロードマップ

2012年「まちづくりスポット」発足
2014年「まちスポ飛騨高山助成金」を設置

認定NPO法人では助成活動できない事業体で公益性の高い活動が活発化し始める。有事の際の支援活動をより迅速に行える必要性を感じる。

2020 → 2021 → 2022 → 2023 → 2024

財団法人と連携して、市民活動だけでなく、生活を支える事業者やソーシャルビジネスを行う事業者を対象とした助成事業を行う。そうすることで、地域の課題に対して誰もが挑戦でき、地域の枠を超えて飛騨を愛する皆でその挑戦を応援できる地域を目指す。

設立準備会 2022.12～2023.8：設立寄付 賛同人募集
一般財団法人 2023.8～
公益財団 2024.4～
基金設置・寄付募集・公益活動への助成
運営に係る助成金獲得・財団法人としての収益事業の確立

連携、情報共有、業務委託

まちスポ
全国コミュニティ財団協会より設立支援助成金【休眠預金】2020年～2024年3月

フードバンク基金・助成金 2022

2024年3月までの休眠預金助成期間（準備会、一般財団法人化後も）、当団体スタッフが団体運営にかかわり、飛騨地域での新しい資金循環の仕組みの基盤をつくる。

① 団体設立準備

2022年12月26日（月）飛騨コミュニティ財団設立準備会発足
毎月1回、準備会の構成員による会議を運営。
2023年1月12日（水）設立寄付・賛同人募集　開始
2023年4月30日締切

事業パートナー 古里圭史
グラスルーツアカウンティングファーム代表／公認会計士／税理士／慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任准教授

事業パートナー 木村真樹
合同会社めぐる代表／「凸と凹」運営責任者／日本評価学会認定評価士／日本ファンドレイジング協会認定ファンドレイザー・認定講師

② スキマ研究会

飛騨地域に起きる様々な困り事に関する意見交流会をリアル会場とオンラインを併用して開催。第１回から延べ421名参加。

2022年4月21日(木)	第6回 不登校、その先を考える#2	40名
2022年5月20日(金)	第7回 スタートアップ	111名
2022年7月2日(土)	第8回 UIJターン	30名
2022年8月31日(水)	第9回 不登校、その先を考える#3	24名
2022年9月22日(木)	第10回 すきま時間-有償ボラ-	16名
2022年10月25日(火)	第11回 すきま時間-パラレルキャリア-	17名
2022年11月4日(金)	第12回 死にたい気持ちシンポジウム	48名
2023年1月13日(水)	第13回 ジェンダーライブラリー	13名
2023年2月10日(土)	第14回 地域猫との暮らし	15名
2023年2月17日(土)	第15回 福祉×地域通貨	29名
2023年3月26日(火)	第16回 みんなの選択-乳がん検診について-	11名
		延べ354名

③ ひだのスキマ白書

高山市・飛騨市・下呂市・白川村を対象として地域課題に関する白書を製作。費用の一部をクラウドファンディングで募り、飛騨地域内外から176名942,000円のご支援をいただいた。掲載コンテンツの一部インタビューを講演会として実施、さらに白書を活用した勉強会を開催することで、財団設立についての意見交換のきっかけとして白書を活用している。

発行日2022年 12月25日（日） 発行部数 1,000部

●掲載コンテンツ_先進事例勉強会
2022年8月3日(月)5日(金) 地域の課題解決を考える２Days 14名

●白書勉強会 ～みんなでつくるひだ財団の説明会～
2022年11月29日(火)　第0回@オンライン19名
2023年1月31日(火)　第1回@高山市9名
2023年2月3日(金)　第2回@飛騨市18名
2023年3月9日(木)　第3回@下呂市11名
2023年3月22日(水)　第４回@白川村
※参加申込０名のため中止

④ 飛騨地域フードバンク活動基金・助成金

まだ食べられるのに、さまざまな理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている施設や人に届けるフードバンク活動等への寄付金の窓口を開設。402,482円のご支援をいただきました。2023年1月に助成金の公募を開始し、同年3月に有識者による審査会、助成金交付をしました。

交付団体
フードバンク飛騨高山
交付額　30万円
事業名「フードバンク事業」

移住・定住促進事業

1 飛騨地域求人特集ページの活用及び、求人掲載企業へのセミナー開催

2021年4月1日より飛騨地域仕事探しサイト「飛騨で働く！求人特集」ページがリニューアル。飛騨地域の企業75社の求人を掲載中です。

2022年度は飛騨地域事業者に向けた人材採用手法、飛騨地域求人特集ページの案内セミナーを完全オンライン開催。講師にWEBコンサルタント·淺井葉月氏を招き、コロナ禍だからこそできる採用方法、求人広告、そして社内の内部環境改善の秘訣を成功·失敗事例を交えながら分かりやすくお伝えしました。また、これから就職活動を控える学生にも参加してもらい、若者視点での求人情報を見る時の重視する点や気になる箇所を参加企業に伝える勉強会も実施しました。

https://www.hida-iju.com/category/recruit

2 飛騨「未来の地域編集部」の運営、地元ライターによる飛騨地域の情報発信

飛騨地域の「暮らし情報」を取材し、ブログ形式で記事にまとめ、ホームページ「グッとくる飛騨」で配信しています。ライターは世代、出自が様々。生まれも育ちも飛騨地域内、県外からの移住者など、それぞれの目線から2022年度も10本の記事を投稿しました。

グッとくる飛騨の運営（飛騨地域連携移住·定住促進支援業務）は、飛騨地域の3市1村(高山市、飛騨市、下呂市、白川村）が連携した「飛騨地域連携協議会」から事業を受託し、移住定住に繋げるための事業に取り組みました。

3 飛騨地域総合移住ホームページ「グッとくる飛騨」の運用保守

移住検討者目線で仕事や暮らしなど目的の情報を得やすくなるよう導線を強化した移住検討者に向けたホームページです。2022年度で年間74,994PV（ページビュー数）を超える閲覧があったサイトになっています。（2021年度68,669PV）

https://www.hida-iju.com/

移住交流施設

神明寮

仕事・住まい探し中の一時滞在や、町の雰囲気を実際に暮らして体感し安心して飛騨地域に移住してもらうための移住体験施設です。移住検討者だけではなく、研修・インターンシップに訪れる大学生や社会人が地域と関わる拠点としても活用しています。

（利用者数）研修利用 11名、移住体験 3名
（稼働日数）研修利用 43日、移住体験 23日
※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、確認票を基に受入可否を決定しています。

http://machispo.org/activity/machidukuri/sinmeiryo

令和４年度高山市家族介護者相談室委託事業

介護のための ほっとする談話室

家族が身内の介護をしている場合、家族が多い家庭でも直接介護をする人は一人に偏りがちです。それがお年寄りの介護ともなれば、先が見えなく毎日の小さなストレスを一人で抱え込むことになります。そのような人が、誰に気兼ねするでもなく思い存分吐き出せるところがこの談話室なのです。昨年は介護鬱になる手前の人が多く見受けられました。

吐き出すことで自分を取り戻し、また明日からの介護に取り組めます。まちスポ飛騨高山では毎月10日と20日を固定化して開催しています。

開催回数 30回
（内、お出かけ談話室1回）
相談件数 90件
（来場71件、電話19件）

ホームページにも情報掲載中！
http://machispo.org/activity/machidukuri/kaigo

飛騨地域在中外国人のためのネットワークづくり

留学生の岐阜大学1年生、陳韻文さんがまちスポでインターンシップをして取り組んだプロジェクト「高山市で災害が起きた時の在住外国人のネットワーク作り」を基に、飛騨地域で暮らす在住外国人を対象に防災教室を開催しました。

文化や生活習慣が違う在住外国人にとって、想像がつかない日本で起こる災害について知ることでその時の身の守り方、その後の生活について学習しました。

自助力を向上することによって災害時に要支援者ではなく支援者になることが出来るネットワーク構築を今後も進めてまいります。

2022年
4月10日(日)·13日(水)　在住外国人及び多文化共生支援者への防災意識調査 10名
　17日(日)·27日(水)
2022年 5月 8日(日)　すえひろオンラインdeミーティング ～多文化共生編～ 14名
2022年 5月22日(日)　在住外国人のネットワーク構築と防災教育について 報告会 8名
2023年 2月 7日(火)　高山市主催の日本語教室での防災教育 20名

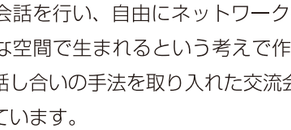
「ワールドバー in 飛騨高山」

知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことができるカフェのような空間で生まれるという考えで作られた「ワールドカフェ」という話し合いの手法を取り入れた交流会を 2013 年から継続して開催しています。

2022年 5月4日(水･祝)	第23回 多文化共生版の クロスロードゲームで遊んでみよう	参加者 13名
2022年 6月 24日(金)	第24回 オンライン移住者交流会	参加者 4名
2022年 11月27日(日)	第25回 やさしい日本語で”地震”ワークショップ	参加者 15名
2022年 12月 18日(日)	第26回 ポリ袋料理教室	参加者 11名
2023年 2月 4日(土)	第27回 台湾文化交流会	参加者 12名

まちスポ コロナ対策プロジェクト

地域住民・NPO等の新型コロナウイルス感染症に関わる活動に対して「ヒト・モノ・カネ・情報」の協力をしながら、広く応援していく事業です。



1 岐阜県女性のつながりサポート事業

岐阜県ではコロナ禍で経済的困難や不安を抱える女性に対して、訪問支援や誰でも気軽に訪れることができる居場所の提供、生理用品の無料配布を行う「女性のつながりサポート事業」を実施。まちスポも「まちスポ飛騨高山」を使って居場所を提供する協力団体となりました。「ゴミについて考える日」「イングリッシュスポット-英会話教室-」のイベントと同時開催し、誰でも訪問しやすい居場所作りの提供をしていきます。 **開催回数 39回**

http://gifu-npocenter.org/tsunagari/

2 富山市元気づくりオンラインサポート

Withコロナ時代になり、対面での人のつながりも回復してきましたが、オンラインを活用したサービスを受けやすくするための支援も継続して必要です。2022年度は、富山市が企業に向けた「仕事と妊娠･出産･子育てが両立できる環境づくり」や若い世代に向けた「妊娠と出産を迎えるための正しい知識の普及」のオンライン講座開催のサポートを行いました。

2022年11月16日(水) 参加企業69団体
2023年 2月 6日(月) 参加者129名

広がるまちスポネットワーク

全国のNPOや企業、行政とネットワークを築き、さまざまな組織との協働を生みだします。地域で培ったノウハウを全国の活動を広げ、また、全国の組織と情報交換をしながら各地のまちづくり活動へ活かします。2012年11月1日に交流スペース「まちスポ飛騨高山」が開館以来、2022年度末で全国のまちスポ来館者数は95万人以上になりました。延べ2,000以上の利用登録者・団体が各地のまちスポで活動しています。

岐阜県 フレスポ飛騨高山
⑤ まちづくりスポット飛騨高山
運営：認定NPO法人まちづくりスポット
開設：2012年11月1日
ＨＰ：http://machispo.org/

北海道 フレスポ恵み野
① まちづくりスポット恵み野
運営：認定NPO法人まちづくりスポット恵み野
開設：2015年4月10日
ＨＰ：http://machispomegumino.org/

富山県 総曲輪（そうがわ）レガートスクエア
⑥ まちづくりスポットとやま
運営：認定NPO法人まちづくりスポット
開設：2017年4月1日
ＨＰ：https://www.machispo-toyama.org/

滋賀県 ブランチ大津京
⑦ ハッシュタグ大津京
運営：NPO法人まちづくりスポット大津
開設：2019年11月29日
ＨＰ：https://otsu.hashtags.biz/

宮城県 ブランチ仙台
② まちづくりスポット仙台
運営：NPO法人まちづくりスポット仙台
開設：2018年4月25日
ＨＰ：https://www.machispo-sendai.com/

兵庫県 ブランチ神戸学園都市
⑧ まちづくりスポット神戸
運営：認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸
開設：2013年12月6日
ＨＰ：https://machispokobe.com/

千葉県 フレスポ稲毛
③ まちづくりスポット稲毛
運営：認定NPO法人まちづくりスポット稲毛
開設：2013年6月7日
ＨＰ：http://machispoinage.org/

岡山県 ブランチ岡山北長瀬
⑨ ハッシュタグ岡山
運営：一般社団法人北長瀬エリアマネジメント
開設：2019年6月27日
ＨＰ：https://oka-kitanagase.hashtags.biz/

神奈川県 ブランチ茅ヶ崎
④ まちづくりスポット茅ヶ崎
運営：認定NPO法人まちづくりスポット茅ヶ崎
開設：2015年4月1日
ＨＰ：http://machispo-chigasaki.com/

福岡県 ブランチ福岡下原
⑩ まちづくりスポット福岡東
運営：NPO法人アクションタウンラボ
開設：2018年11月30日
ＨＰ：https://msfuk.jp/

作成協力：大和リース株式会社「あゆみ 2020 March vol.63」

まちスポとやま

まちスポとやまは2017年に官民連携複合施設「総曲輪レガートスクエア」の事務局として活動をスタートし、開設５周年を迎えました。地域コミュニティ醸成と交流の場として公共レンタルスペース「まちなかサロン」と民間レンタルスペース「ギャザリングスペース」の管理・運営を行っています。

DATA

まちなかサロン来場者数……2,808名
まちなかサロン使用登録団体数…52団体
（新規13団体、継続39団体）
相談実績……200件

総曲輪レガートスクエア視察件数 …… 9件
ギャザリングスペース・貫通通路使用回数…172回
（ギャザリングスペース169回、貫通通路　3回）
（2022年度）

ギャザリングスペースの運営

民間のレンタルスペースであるギャザリングスペースでは、2F「ギャラリー」「和室」「BAR」と趣が異なる3スペースと1Fの屋根付き屋外スペース「貫通通路」が利用可能です。セミナーやミーティング、パーティーの他、チャレンジショップの出店としても活用されてきました。2022年度は新規の利用件数が過去最高となり、認知度が年々高まってきています。

貫通通路で母の日イベント

ギャラリーで個展

総曲輪 レガートスクエア協議会 官民連携事業

官民連携事業は、総曲輪レガートスクエア内の施設が協働しながら、地域の方のクオリティ・オブ・ライフの向上の後押しをする企画や場の運営を行っています。
コミュニティガーデンでは、総曲輪地区にお住まいの方が中心となって、四季を彩る花々のお世話をしています。

総曲輪レガートスクエアの冬支度

まちなかサロンの文化祭・ミニ体験会

まちなかサロンの文化祭・スタンプラリー

多世代交流イベント

レガートスクエア内のコミュニティガーデンでは、地域住民や登録したグリーンボランティアらが交流しながら園芸体験を行いました。また、開設５周年を記念した「まちなかサロンの文化祭」では、ミニ体験会やスタンプラリーを開催。まちなかサロンでの活動を紹介した「元気さがしBOOK」を発行しました。

まちなかサロンの文化祭・パネル展示

「元気さがしBOOK」発行

七夕に願いを込めよう

多世代交流イベント　インターン生が取材・制作した「元気さがしBOOK」が好評で、登録団体の増加にもつながりました（P12参照）。

季節の装飾体験

恒例の七夕飾りで施設の一体感を高めました。

香りの花束タッジーマッジーをつくろう

書初め大会練習会

Hi! English

多世代交流講座

小学生を対象に、夏、冬、春の長期休み期間に、施設で活動する団体やまちなかサロンの登録団体、地元の高校生らに講師になってもらい、楽器体験やハーブのワークショップ、書き初め大会の練習会を開催しました。また、留学生を講師に英語を使った異文化交流企画も開催し好評でした。

とやまし 元気づくり プロジェクト2022

富山市は、市民1人ひとりがウェルビーイング（健康で幸福な状態）を目指せるよう取り組みます。市が目指すウェルビーイングとは生きがい・仲間で元気を増やすことと、病気の予防や治療とのバランスを取りながら、自分らしくイキイキと生活できることです。そのような市民を増やすために、まちスポは、2019年度より「富山市健康長寿コンシェルジュ・サービス元気プログラム運営業務」を受託し、元気を増やすヒントが詰まった4種類のプログラムを軸に51個のイベントを企画・監修、延べ1,129人が参加しました。

新型コロナウイルス感染症拡大を考慮しつつ、対面での活動を実施することができました。2022年は、企画の主催・運営をサポートする「コンシェルジュ研修プログラム」も開催。4団体/個人が企画し、80名が参加しました。この事業をきっかけにまちなかサロンで継続的に活動する団体もあり、一歩を踏み出す機会にもなりました。

ウェルビーイング研修

楽しく仲間づくり、元気づくりができる 4つのプログラム

ウェルビーイング研修プログラム
全世代向け、公募プログラム
プログラムを企画したい人向け

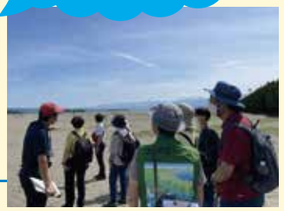
プログラム数9回　公募4団体／個人（女子大生の私がお父さんとお母さんにオススメする「富山のまちなかで五感を楽しむお散歩企画♡」、にこにこバランスボール、おしゃべりしながら「目トレ」と「脳トレ」を楽しもう！、ハッピー産後ケア）　参加者数 80名

自分時間を楽しむ
全世代向け

体験や趣味を求める人向けプログラム“オンラインってどうやるの”

プログラム数 10回　参加者数 61名

健幸の見える化
現役世代、シニア向け



知識や健康を求める人向けのプログラム“ブラとやま”

プログラム数 5回　参加者数 104名

親子サークル tetote
子育て中の母親向け・毎週火曜開催

子育て中にママが交流し、子育てを楽しむプログラム“tetote”

プログラム数 27回、参加者数 884名
運営委託：㈱ママスキー

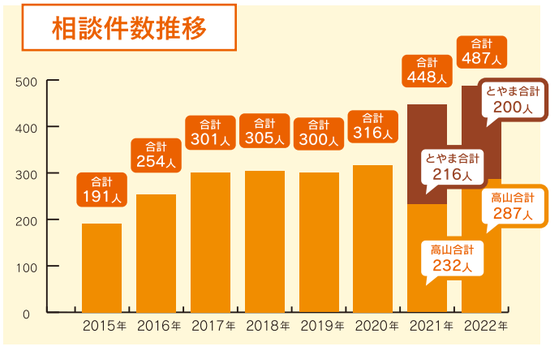
より加速する活動のサポート

人材育成及び研修に係る事業

NPO法人や市民活動団体・個人が想いをかたちにして、活動が継続・前進するよう、事業運営や経理、人材のスキルアップ研修など様々なサポートを行っています。

まちそだて相談

地域で新しく何かを始めたい人や団体の相談を受けています。2022年度も引き続きコロナ禍中でしたが、新しい生活様式に合わせた開催方法の相談や、コロナ禍の影響で困っている人のために何か出来ることはないかと多くの相談が寄せられました。



まち・ひとそだて講座

まちスポ飛騨高山 助成金申請へっちゃら講座

やりたい事がある！けれど、どうやって始めたら良いかわからない。そのような市民活動団体などの事業の発展・安定化を図ることを目的にまちスポスタッフが経験を基に事業計画の立て方や事業に必要なお金の考え方についてサポートしました。

事業内容が固まると自分の言葉で自分の活動を伝えるためのプレゼンへ向け、絶対に押さえておきたい要点と伝える手法を実戦形式で学ぶ「伝え方講座」を教えていただきました。

講　師　ひだ経営コンサルティング　丸山 学氏
参加団体　2団体

まちスポ飛騨高山 助成金

飛騨地域の課題を解決するために活動している団体を応援することを目的に、まちスポに寄せられた寄付金を原資として、2014年度より交付しています。活動資金の補填のためだけではなく、申請団体自身の課題とも向き合いながらスキルアップする機会となっています。へっちゃら講座で学んだ内容を実践する場にもなるまちスポ飛騨高山助成金は助成金申請が初めての団体が多く参加され学びながら最初の一歩を踏み出せる機会となっています。

2023年度の募集期間
2023年4月1日(土)～2023年12月25日(月)

https://machispo.org/activity/nposupport/joseikin2023/

インターンシップの受入れ

地域との繋がりづくりや地域づくりを担う若者の育成としてインターンシップの受け入れを行っています。学生の目的や個性を活かしたインターンプログラムを作成します。2022年度は４名の学生を受け入れました。

まちスポ飛騨高山
ちん いんぶん
陳 韻雯さん

まちスポのスタッフや様々な方のご指導やサポートがあったことで、インターンシップがより充実したものとなりました。防災ミーティングやイベントに参加して、防災に関することを学びましたが、参加者の皆さんから外国人を支援する気持ちを感じることができて本当にありがたいと感じました。学んだ知識を活かし、安心して暮らせる生活を目指したいです。

所属大学　岐阜大学大学院地域科学研究科 地域文化専攻
受入期間　2022年2月19日～5月22日のうち20日間

まちスポとやま
とみた かりん
富田 果琳さん

将来、地域の方と関わる仕事をしたいと考えている中で、市民が感じている課題や人と人とのつながりを生み出す仕組みづくりを学びたいと思い、インターンシップに参加しました。活動を通じて、窪田さんとフリーペーパーという形で成果を残すことができ、人の輪が広がっていくことも実感しました。これから生きていく上で、学ぶことが多くあり、充実した期間を過ごすことができました。

所属大学　富山大学芸術文化学部 芸術文化学科
受入期間　2022年8月9日～9月28日のうち14日間

まちスポとやま
くぼた あやの
窪田 彩乃さん

大学でNPOの活動を知ったことをきっかけに、地元富山ではどのような活動をしているNPOがあるのか興味を持ち、インターンシップに参加しました。活動期間中は、まちなかサロンを利用する団体さんを多くの方に知ってもらうプロジェクトを担当しました。メールや電話でのやりとりの他に、団体さんへのインタビューやイベントに参加する中で、人とのつながりの大切さを改めて実感しました。

所属大学　中京大学現代社会学部 現代社会学科
受入期間　2022年8月3日～9月28日のうち21日間

まちスポ飛騨高山
まつい りさ
松井 里彩さん

保健の先生を目指している中で、教育者とは異なる目線で子どもたちを見てみたいと思い、生徒の相談会などを実施しているまちスポのインターンシップに参加しました。取材・記事作成や子どもたちと交流していく内に、子どもたちが何に苦しんでいるか少しわかった気がしています。地元飛騨高山を良い町にしたいという思いのある地域の人々と出会うことができ、嬉しい気持ちになりました。

所属大学　愛知みずほ大学人間科学部 心身保健学科
受入期間　2022年7月10日～8月19日のうち3日間

NPO会計相談

団体の活動の透明性を大きく左右する会計業務。NPO法人の会計の基本についてや、認定NPO取得へ向けた会計相談など様々な相談が寄せられました。会計事務に対する悩みから解放され、活動がより推進することを願い今後も活動を続けていきます。

視察・研修の受入れ

「まちづくり」や「協働」などをテーマに視察・研修の受入れを行っています。「まちスポの成り立ち」「NPOについて」など依頼にそって構成しています。2022年度は、高岡市より認定NPOの運営、会計処理を学ぶNPO法人の視察を受入れました。

まち・ひとそだて講座

出世魚講座

まちスポボランティア講座

まちスポサポーターを対象に「わが町を盛り上げる人材の育成」を目指して2019年度よりスタートした事業です。まちスポでのブログ投稿や受付業務など基礎的な業務の中から、「後方事務」の重要性を伝え、NPO・中間支援ついて学べる研修になっています。

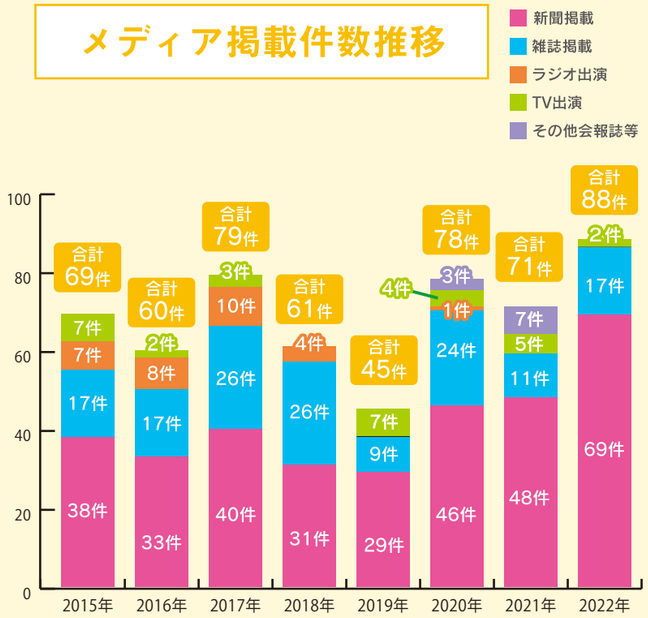
活動のさらなる広がりを目指した広報

定期的な会報の発行をはじめ、チラシ、ポスター、ホームページ、SNSなど各種媒体を利用して、まちスポを利用する団体や個人の活動の周知や報告などを行っています。さらに2022年度は、まちづくりスポットとフレスポ飛騨高山10周年を迎え、記念事業を実施しました。

メディア掲載

2022年度は、地域で起こる様々な諸問題解決に取り組む活動のフードドライブ、スキマ研究会などが各種メディアに取り上げられました。掲載記事を見てまちスポへの活動の問合せや興味を持ってくださる方も増えています。

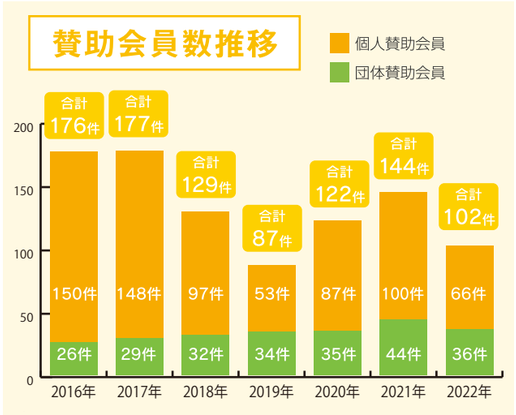
メディア掲載件数推移



賛助会員・寄付状況

全体として会員数が減少したことが課題ですが、事業を通じて繋がった方の入会や、10周年を迎え再継続してくださる市民の方の入会もありました。まちスポの信頼度が向上した一年でした。引き続き地域の皆様の思いに応えていけるよう活動してまいります。

賛助会員数推移



広報ツール

各種広報ツールでまちスポからのお知らせや、イベントの様子を配信しています。また、利用会員の広報支援も行なっています。

ホームページ	facebook
http://machispo.org/	http://machispo.org/
ブログ	**インスタグラム**
http://machispoblog.hida-ch.com/	https://www.instagram.com/machispo_hida_takayama/

会報　毎月発行
ホームページに公開しています

周年事業

みんなのフレスポ納涼祭

日　時　2022年 8月14日(日) 10時～17時
場　所　まちスポ飛騨高山屋外スペース
来場者　400名

縁日ブースでは、射的、スーパーボールすくい、キャラクター風船の水ヨーヨーを設置。障がい者就労支援さんしょうの会「きららハウス」によるパンの販売、81cafeでは特別メニュー「自家製シロップのかき氷」の販売を縁日にあわせて実施。

トリック・オア・トリートでお菓子をもらおう

日　時　2022年 10月30日(日) 10時～16時
場　所　カゴ受お渡し、読み聞かせ会@アルペン横共用部
　　お菓子お渡し@各店舗
来場者　250組 467名

インスタグラムのフォロワーの親子を対象にお菓子を配布。この日のために福祉作業所クレヨンひださんが200個のカゴを制作。カゴを持って店頭に行き、「トリック・オア・トリート」と言うと、店員さんが1つお菓子をカゴに入れてくれる。同日に読み聞かせ会も実施。

バルーングリーティング

オレンジベア→Mikiさんがバルーンをプレゼントしながらテナントを周遊。

バランスボール×カラダづくりブランチ

日　時　2022年 10月10日(月・祝)
　　2022年 11月6日(日)
参加者　両日 6名

バランスボールをしたあとは、81cafeの特別ランチ。アルペンのトレーニングウエア・健康グッズの試着・試用会も同時開催。講師：An park岡野杏里／協力：81cafe、アルペン

秋コーデを楽しもう

フレスポ飛騨高山で普段の暮らしが今より少しワクワクするコーデをInstagramにて紹介。

投稿日：9月30日(金)
監修：堀井マヨ氏
協力店舗：JINJIN、ABCマート、ユニクロ

フレスポ特番制作

「はじめてのおつかい」を実施。6組の子どもたちが、フレスポ飛騨高山でお買い物に挑戦。他、10周年を記念したフレスポ紹介動画を作成。

大大大感謝祭

例年秋に開催しているフレスポ飛騨高山周年行事のガラポン抽選会に合わせて、ステージ企画や販売会などお客様が楽しめる催しを実施。

日　時　2022年 11月12日(土) 13日(日)
来場者　675名

ファミリーフェスティバル

歌って踊ってクイズして、親子で楽しめるステージ企画。地域のバンドや市民活動団体がパフォーマンスした。

出演者：14組
司　会：12日 ヒッツFMナビゲーター服部和子氏
　　13日 NPO法人飛騨高山わらべうたの会岩塚久案子氏

Special Night Live

アーティストを招き、美味しいフードと飲み物を片手に音楽を楽しむ大人の時間。

ハンドメイドマルシェ

ハンドメイド作家による販売会を実施。

出店者：9団体

竹灯籠ワークショップ

飛騨高山まちの体験交流館のワークショップ講師による子どもから大人までが楽しめるワークショップ。

財務状況

NPO法人は毎事業年度初めの3ヶ月以内に、前事業年度の事業報告書、決算書類（活動計算書、貸借対照表、財産目録）、などを作成し所轄庁に提出することが義務付けられています。
事業報告書には、前事業年度にどのような活動を行ったかを記載します。
関係者や寄付者、関わりのある方だけでなく、たくさんの方に法人の活動への理解をつなぐため閲覧できるようになっています。

活動計算書

2022年4月1日～2023年3月31日

科目		金額（円）	
Ⅰ 経常収益			
受取会費	正会員	80,000	
受取寄付金	賛助会員・その他寄付金	18,749,304	①
受取助成金		9,060,190	②
事業収益			
	交流スペースの利用促進に係る事業収益	540,800	
	まちづくりの推進に係る事業収益	4,749,605	
	ネットワーク事業収益	14,735,306	
	人材育成及び研修に係る事業収益	112,500	
	広報活動に係る事業収益	1,178,600	
	その他この法人の目的を達成するために必要な事業収益	0	
	事業収益 計	21,316,811	
その他収益	受取利息／雑収入	93	
経常収益計（A）		49,206,398	
Ⅱ 経常費用			
事業費	人件費（給与手当／法定福利費等）	21,709,046	③
	業務委託費	13,464,210	④
	諸謝金	1,371,300	
	印刷製本費	927,024	
	会議費	134,882	
	旅費交通費	543,578	
	通信費	853,527	
	消耗品費	738,378	
	修繕費	13,200	
	渉外費	5,000	
	水道光熱費	314,902	
	賃借料	1,518,835	⑤
	減価償却費	41,819	
	保険料	234,079	⑥
	広報費	916,993	
	諸会費	41,000	⑦
	新聞図書費	90,100	
	租税公課	936,512	⑧
	研修費	3,500	
	支払手数料	559,147	
	報償費	439,184	⑨
	支払助成金	300,000	⑩
	活動支援金	108,000	
	支払寄付金	43,000	⑪
	雑費	73,957	
	慶弔費	16,500	
	撤去費用	264,000	⑫
	事業費 計	45,661,673	
管理費		3,831,697	⑬
経常費用 計（B）		49,493,370	
当期経常増減額（A）－（B）		▲ 286,972	
Ⅲ 経常外収益			
雑収入		4,000	
Ⅳ 特別利益			
過年度損益修正益		2	
Ⅴ 特別損失			
固定資産除却損		1,215,914	⑭
税引前当期正味財産増減額		▲ 1,498,884	
法人税、住民税及び事業税等		153,000	⑮
当期正味財産増減額		▲ 1,651,884	
前期繰越正味財産額		10,726,465	
次期繰越正味財産額		9,074,581	

① 受取寄付金
個人及び団体の賛助会費、任意の寄付を計上しています。

② 受取助成金
「休眠預金活用事業」「アジア留学生等支援基金」等の助成金を計上しています。

③ 人件費
飛騨高山、とやま職員の事業に係る給与手当及び法定福利費を計上しています。支出の約40%を占めています。

④ 業務委託費
外部へ委託した事務作業や、外部有識者へ支払った業務委託費を計上しています。

⑤ 賃借料
複合機や電話機のリース代の他、視察研修・移住希望者が宿泊するための寮を設置し、それに伴う家賃を計上しています。

⑥ 保険料
NPO活動総合保険の保険料を計上しています。

⑦ 諸会費
東海地域にある中間支援団体の正会員費を計上しています。

⑧ 租税公課
業務委託、請負等の契約時に必要な収入印紙代や、消費税を計上しています。

⑨ 報償費
まちスポ主催のイベントや、交流スペース受付業務を手伝って下さったボランティアに支払った報償費を計上しています。

⑩ 支払助成金
飛騨地域で活動しているフードバンク飛騨高山に交付した助成金を計上しています。

⑪ 支払寄付金
市民活動団体への協賛金や、ネットワーク団体への賛助会費として計上しています。

⑫ 撤去費用
総曲輪レガートスクエアのパティオで使用していた什器備品のシェードが破損したため計上しています。

⑬ 管理費
総務・経理担当の人件費及び、役員報酬、ＮＰＯ法人全体の管理に必要な印刷代、支払手数料、消耗品等の経費を計上しています。

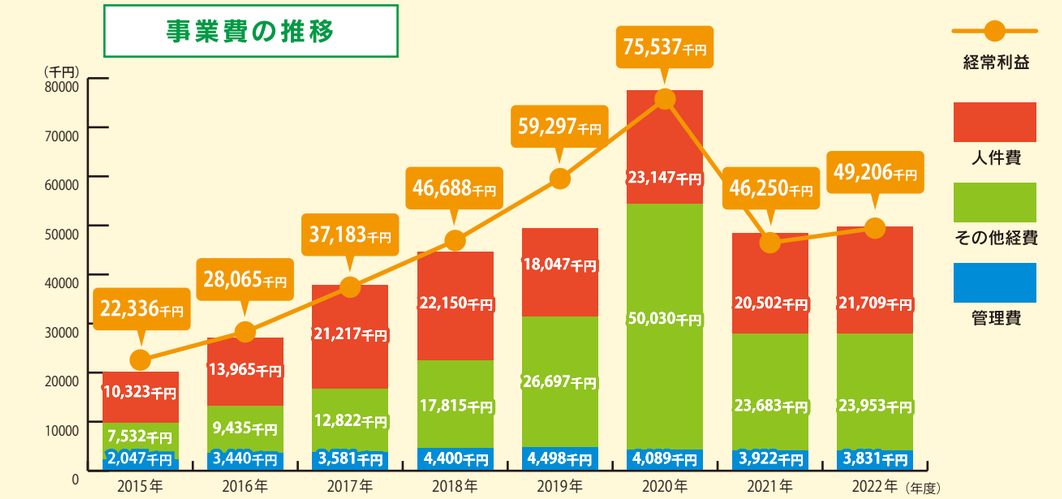
⑭ 特別損失
什器備品に劣化・破損があり、安全性にかけるため2022年度で一括償却を計上しています。

⑮ 法人税
法人県民税及び法人市民税の均等割額を計上しています。

貸借対照表（たいしゃく）

科目	金額（円）		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,979,184		
未収入金	5,633,777		
前払金	7,062		⑯
流動資産合計		13,620,023	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			13,620,023
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,630,605		
預り金	254,537		
未払法人税等	153,000		
未払消費税等	507,300		
流動負債合計		4,545,442	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			4,545,442
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		10,726,465	
当期正味財産増減額		▲ 1,651,884	
正味財産合計			9,074,581
負債及び正味財産合計			13,620,023

⑯ 前払金
2023年度実施予定の事業に対する支払を前払金として計上しています。



2022年度を振り返って

2022年度は、「ひだスキマ白書製作プロジェクト」や「飛騨地域 フードバンク活動基金」のクラウドファンディングに挑戦し、飛騨地域外からも多くの寄付が集まりました。

2022年度も事業収益、寄付金などの様々な財源を活用し事業を行ってきました。新型コロナウィルスも第５類に緩和されたことをきっかけに、市民活動やNPO活動も活発になってきています。次年度以降、ご賛同いただける新規寄付者の声かけや、助成金に挑戦したりなど新しい財源の確保に向け取り組んで行きます。

まちスポの あゆみ

認定NPO法人まちづくりスポットは2023年3月4日に設立10周年を迎えます。
これまでに取り組んできた5つの事業のキーポイントを年表にまとめました。

交流スペースの運営に係る事業　まちづくりの推進に係る事業
ネットワーク事業　人材育成および研修に係る事業　広報事業

2011年度

秋～
大和リース株式会社が管理人を置かないコミュニティスペースの利用者をヒアリング調査する中でNPO法人ムラのミライ（旧、ソムニード）を訪問。以後協議を重ねることでNPOがNPOを支援する団体を共に作ることになる。

2012年度

8月1日
まちづくりスポット設立準備室を設立

10月1日
全国にスタッフ募集をかけ3名のスタッフを採用

11月1日
交流スペース「まちスポ飛騨高山」オープン

2月20日
会報「まちスポ」第1号発行
（2022年5月で100号！）

3月4日
NPO法人登記完了
NPO法人まちづくりスポット誕生

2013年度

6月7日
交流スペース「まちスポ稲毛」オープン

9月22日
第1回「ワールド・バーin飛騨高山 ～私たちの住みやすい高山市を想像しよう！～」（若者の意見交流の場）開催

11月30日
まちスポの事業でNPO法人ムラのミライ（旧、ソムニード）＆大和リース株式会社が「第10回日本パートナーシップ大賞」優秀賞受賞

12月6日
交流スペース「まちスポ神戸」オープン

2014年度

5月～
「まちそだて相談」開始

9月30日
まちスポ飛騨高山助成金交付審査会初開催

2015年度

2015年
1月27日・28日
第1回「全国まちスポ交流会in飛騨高山」開催

4月1日
交流スペース「まちスポ茅ヶ崎」オープン

4月10日
交流スペース「まちスポ恵み野」オープン

7月～
地域ベンチャー留学in飛騨高山改め
「ひだインターン留学」開始

9月1日
地元金融機関2社と連携して
「ひだインターン留学実行委員会」を組成

8月11日～9月10日
「ワーキング・ホリデーin飛騨高山」開始

2016年度

7月2日
交流スペース「まちスポ鳥栖」オープン

2017年度

4月1日
サテライトオフィス「まちスポとやま」開設

8月17日
高山市「家族介護者相談室事業」
（介護のためのほっとする談話室）受託

2018年
1月16日・17日
第4回「全国まちスポ交流会in富山」開催

2018年
2月28日
認定NPO法人取得

2018年度

4月1日
移住交流施設「神明寮」オープン
（7月2日住宅宿泊管理業者登録）

5月21日
第7回「まちづくり法人国土交通大臣表彰」審査委員長賞受賞

8月20日
平成30年度飛騨地域移住・定住促進連携事業受託

11月17日
「CSOアワード2018」CSO賞受賞

11月30日
交流スペース「まちスポ福岡東」オープン

2019年度

4月1日
富山市健康長寿コンシェルジュ・サービス
元気づくりプログラム運営業務委託事業受託

6月27日
「ハッシュタグ」岡山オープン

2020年度

6月2日
飛騨地域コロナ対策医療支援基金
官民共同プロジェクト発足

11月23日
飛騨地域オンライン子育て支援ネットワーク構築事業
NPO法人飛騨高山わらべうたの会に委託

12月28日
富山市元気づくりオンラインサポート事業開始

3月20日
令和２年度岐阜県移住促進団体活動推進事業
／2020年度東海ろうきんNPO育成助成金お試し移住拠点整備事業「ちょいひだ」ホームページ公開

2021年度

4月1日
飛騨コミュニティ財団（仮称）設立事業開始

12月1日
岐阜県女性のつながりサポート支援事業（居場所の提供）
運営業務開始

2022年度

8月～
10周年イベント開催

11月
まちなかサロン登録団体紹介「まちなかサロンでつながろう！ 元気さがしBOOK」発行

その他（2022年度まとめ）
・視察受け入れ（11団体、計5名）
・研修受け入れ（1件、計80名）
・ 大学生インターンシップ受入れ（4名）

その他（2011年～2021年度まとめ）
・視察受け入れ（66団体 532名）
・研修受け入れ（18団体 183名）
・大学生インターンシップ受け入れ（25名…中国人留学生7名、タイ人留学生1名、韓国人留学生1名、マレーシア留学生1名）